

宿毛湾環境保全 連絡協議会

宿

毛湾を含む四国西南海域では、平成16年頃より、サンゴを食害するオニヒトデが大発生し、地域の資源であるサンゴ群集に大きな被害を及ぼしています。これまで、それぞれの海域で自主的にサンゴ保全活動を行ってきましたが、平成21年度より環境生態系保全活動支援事業及び、平成25年度から水産多面的機能発揮対策事業の支援を受けて、サンゴ礁・藻場・干潟の保全活動、並びに教育と啓発の場の提供、漁村の伝統文化・食文化等の伝承機会の提供の活動を行っています。



サンゴ礁

10～15%程度の酢酸溶液を1個体あたり12cc前後注入します。



平成25年度から現在までのオニヒトデ等の駆除実績
作業21日延べ317人参加
オニヒトデ1,928個体 サンゴ食巻貝9,827個体

教育と啓発

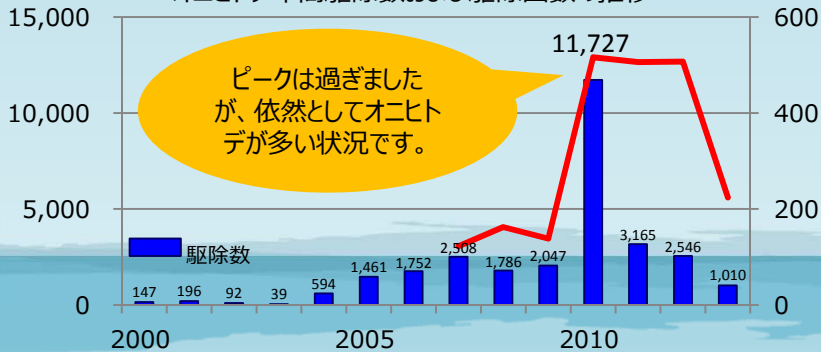


環境学習の場の提供と合わせて、宿毛市と大月町の小学生を対象とした植林体験学習を実施し、クヌギやコナラ等の苗木250本を植樹しました。

活動組織 の構成員 (2,129名)	すくも湾漁協・藻津漁協・橘浦漁協
	宿毛湾ダイビング大月地区部会
	沖の島海洋レジャー事業組合
	足摺宇和海国立公園大月地区パークボランティアの会
協力団体	宿毛市・大月町（協定市町村）、宿毛漁業指導所

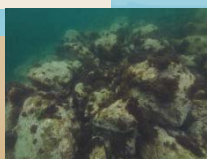
※平成26年12月現在

オニヒトデ年間駆除数および駆除回数の推移



ピークは過ぎましたが、依然としてオニヒトデが多い状況です。

藻場



ウニ除去した範囲では磯焼けがかなり改善され、オバクサを主体とするテングサ場がみられるようになりました。また、海藻のタネが不足している場所では、ホンダワラの母藻の投入を行っています。



活動組織 宿毛湾環境保全連絡協議会（すくも湾漁業協同組合内）

連絡先：〒788-0261 高知県宿毛市小筑紫町田ノ浦1337番地2 TEL0880-62-3177